

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回公民館運営審議会
開 催 日 時	令和3年3月26日(金) 午前10時～11時15分
開 催 場 所	市庁舎604会議室
出 席 者 の 氏 名	鹿島 正之助、藤野 邦夫、内野 信行、中里 市三、山崎 壽男、三原 由紀子、 高柳 進、浅田 衛、田中 雅文、倉持 伸江
欠 席 者 の 氏 名	菅野 昌司、吉川 誠、伊藤 賢治、加藤 市男、梁瀬 正明
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 事	(1) コロナ禍における公民館事業について (2) その他
会 議 資 料	資料1 令和2年度コロナ禍における公民館事業 資料2 令和2年度の事業報告資料 (小手指公民館、柳瀬公民館、三ヶ島公民館、山口公民館、 生涯学習推進センター) 資料3 公民館の対応一覧
担 当 部 課 名	教育長 大岩 幹夫、教育総務部長 千葉 裕之、教育総務部次長 市川 雅美、 松井公民館長 吉川 泰央、富岡公民館長 鈴木 健、小手指公民館長 佐藤 尊之、山口公民館長 守谷 秀明、吾妻公民館長 比留間 嘉浩、柳瀬公民館 長 橋本 浩志、三ヶ島公民館長 三枝 恵一、新所沢公民館長 廣川 美智代、 新所沢東公民館長 足立 啓、並木公民館長 川原利和、生涯学習推進センタ ー所長 酒井 忠夫、社会教育課長 稲田 里織、主査 守野 豊、主査 有沢 法 夫、主任 鈴木 蘭 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
教育長	<p>【1 開会】 社会教育課長から3月20日の「所沢市成人のつどい」開催報告があり、開会した。</p>
委員長	<p>【2 あいさつ】 《教育長あいさつ》</p>
委員長	<p>《委員長あいさつ》</p>
事務局	<p>【3 議事（1）コロナ禍における公民館事業について】 コロナ禍における公民館事業について、事務局から報告をお願いしたい。</p>
公民館長	<p>各公民館の事業については【資料1】「令和2年度コロナ禍における公民館事業」のとおり。この中から、公民館4館と生涯学習推進センターの計5件について報告する。</p>
生涯学習推進センター所長	<p>小手指公民館 《「公民館登録団体による体験会」について報告【資料2-1】》 柳瀬公民館 《「コロナ禍における公民館事業の取り組み」について報告【資料2-2】》 三ヶ島公民館 《「三ヶ島公民館事業」について報告【資料2-3】》 山口公民館 《「第62回山口地区文化祭」について報告【資料2-4】》</p>
委員長	<p>生涯学習推進センター 《「コロナ禍における事業」について報告【資料2-5】》</p> <p>新型コロナウイルス感染症は来年度の事業にも影響を及ぼすと思うが、来年度に公民館で開催してもらいたい事業や感染対策についてなど、次年度に向けて意見をいただきたい。</p>
委員	<p>松井地区では文化祭を中止とした。展示物のパネル等を準備する際に3密を</p>

<p>委員長</p>	<p>避けられないと考えた結果、中止を決定したが、文化祭を開催した館は事業開催の準備段階において、どのような感染症対策を講じたのか。</p>
<p>三ヶ島公民館長</p>	<p>展示会等を開催した館から準備段階での工夫等を説明いただきたい。</p>
<p>柳瀬公民館長</p>	<p>搬入作業に関わる人に対して、人数制限を行い、施設に入る前に検温と手指消毒を実施した。展示会当日もサークルのテーブルを設けずに、説明員1名のみが対応することとした。その説明員も交代制とし、サークルの人が集まらない工夫をした。</p>
<p>山口公民館長</p>	<p>開催時期を3回に分けたことにより、参加団体数を制限し、準備する人数を分散することができた。</p> <p>また、今後に向けて舞台の練習風景を動画撮影し上映する案もあり、利用団体の発表の場を設けていきたいと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>例年、半日で行っていた準備を1日かけて準備した。菊花展についても時間をかけて準備した。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>様々な催しが中止のなか、公民館では工夫して事業していると感じた。外出自粛の影響で、特に高齢者の中に体力が落ちている方がいると思う。高齢者の健康づくりも見据えて事業の検討をしていただきたい。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>公民館で起こった事故報告を見ると、体操教室参加者のけがなど、コロナ禍影響による運動不足に起因すると思われる事故が多かった。地区体育館のある公民館は体育指導員も配置されているので、体操教室の運動レベルを少し下げるなど、高齢者が体を慣らしながら運動できるような指導をスポーツ振興課にもお願いしている。今後、事業再開後に各公民館で見えてきた現状を社会教育課に報告していただき、スポーツ振興課や福祉担当等の関係各課とも連携して、公民館でも地域の方の健康づくりを目的とした事業も行っていきたいと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>良い企画ができて、インターネットに接続できない高齢者等に情報が行き届かず、孤立してしまう問題があり、課題だと感じる。地域での目配り気配りといったものがうまくいって良い事業につながると思うので、気にしていくべ</p>

<p>委員</p>	<p>き事柄である。</p> <p>所沢市の公運審ではパワーポイントをつかった事業報告があり、意見も述べやすい。今後もこの形を継続し、公民館同士の情報交換にもつなげていってほしい。コロナ禍においても工夫して事業に取り組んでいることに感動した。二通りのアプローチがあったかと思う。一つ目は「人と出会わないでできるやり方」。柳瀬公民館や生涯学習推進センターで動画配信企画があったが、各公民館で地域の良いところを動画撮影して、市で取りまとめて市外へも配信し、観光担当課も連携して所沢のPRにつなげていける可能性を感じた。「出会わないでできるやり方」のもう一つは、各自で作った作品を展示するという事業。期間を分けて密になることを避け、感染症対策をしながら公民館事業を行った点に工夫を感じた。ただ、作品を募集するだけであればこのコミュニティ施設でもできるので、社会教育施設の公民館としては教育的活動であったほうが良い。例えば、それぞれの実技分野の専門家とYouTubeで学習動画を作成して、公民館から発信し、学習動画で習った人が作品を応募するような事業。公民館に来て勉強しなくても、自宅にて動画で学習して、その成果を公民館で発表するという形もあると思う。展示と動画を組み合わせる事業もあり得ると感じた。アプローチの二つ目は「出会ってもできるやり方」。サークル体験会のように、人数を制限し、少しずつ公民館活動を体験するという工夫に感心した。また、自然観察会のように野外で公民館活動を生み出していくというやり方もあると思った。来年度に向け、工夫して事業を実施していただきたい。</p> <p>オンライン事業に関して「届ける」「取り込む」「つなぐ」というキャッチコピーのもと、活動できるのではないかと。公民館では、若年層をどう取り込むかが課題であるが、オンラインの時代であるからこそ、どう取り込むかを考えていけるのではないかと。中高年では苦手とする分野で若者が能力を発揮することができ、おもしろいことができると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>今年度の事業実施報告に励まされた。先行きをポジティブに考えられる報告であった。次年度は、オンラインと対面の使い分けや組み合わせをさらに開発したり模索したりしていくことが方向性としてあると思う。オンラインの活用によって公民館に通わなくても参加できる事業が実施されると、子育て中の方や体に不自由のある方、初めての参加者等が参加しやすくなるのではないかと。これまで公民館活動に参加してこなかった人が新たに参加するきっかけになると思う。一方で対面でしかできないことも多くあるので、対面でしかできないことは自信を持ってやっていただきたい。</p>

	<p>オンラインでは参加できない方もまだ多くいるので、その人たちを排除しない形で地域の中での学びを保障していくことを改めて考えていく必要がある。コロナ禍で社会的に孤立が深刻化している人たちもいる。その人たちに対して、公民館が学習や交流の機会、社会参加の機会をどのように作っていけるかが課題である。コロナ差別や医療従事者への差別など、「今だからこそ」の重要な学習課題がある。公民館として正面から向き合って事業化するのは今こそ適時期であると言える。今の学習課題をとらえた事業に期待する。</p> <p>今こそ「地域」である。地域で生活することが見直された今だからこそ、まちづくりセンターとなった公民館が、地域の中で交流や楽しみなどを見出す取り組みを積極的に行うことで、地域にいらなくてはならない時期が終わっても地域に愛着を持つことができ、地域活動への参加を促すことにつながるのではないか。</p> <p>地域住民や利用者の理解は大切なので、安心安全を前提に住民の理解を得て活動していただきたい。</p>
	<p style="text-align: center;">【3 議事（2）その他】</p>
<p>委員長</p>	<p>その他、何かあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>コロナ禍での公民館の貸館業務対応については、【資料3】「公民館の対応一覧」のとおり。</p> <p>令和2年度第1回公民館運営審議会で見解をいただいた「公民館使用申請書の性別記載欄の変更」について男女の記載を無くす要綱改正について、教育委員会議決を受けた。令和3年4月1日から施行する。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にはあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>「成人のつどい」の出席率について、地区によって差があるが、その原因は。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>所沢市は地域の新成人を地域住民が祝う式としており、住所地を管轄する公民館ごとに会場を案内している。学区とは一致していないことから、住所で割り当てられた会場とは別の地区の会場に参加する新成人がいるためである。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にはあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>「成人のつどい」を開催していただき、ありがたかった。</p>

委員長	他にはあるか。 特になし
委員長	議事進行を事務局にお返りする。 《議事については以上で終了。議長に代わり、進行は事務局が務めた。》
事務局	《令和3年度公民館職員研修会の案内をした。》 【5 閉会】 《副委員長あいさつにて閉会》